

事業報告書

1 正会員数

期首	74
入会	0
退会	2
期末	72

2 施設使用状況

(1) 収入額

施設	25年度	前年度	増減	比率(%)
1 展示場				
① 使用件数	96 件	108 件	△12 件	89
② 使用日数	345 日	348 日	△3 日	99
③ 収入額	8,639 万円	8,877 万円	△238 万円	97
2 事務室				
① 入居団体数	9 団体	10 団体	△1	90
② 収入額	2,988 万円	3,079 万円	△91 万円	97
3 駐車場				
① 利用台数	26,487 台	26,456 台	31 台	100
② 収入額	2,423 万円	2,368 万円	55 万円	102
4 店舗				
① 入居店舗数	5 店舗	5 店舗	0	0
② 収入額	1,180 万円	1,180 万円	0	0
合計	15,230 万円	15,504 万円	△274 万円	98

(2) 事務室、店舗

① 事務室

平成 25 年 6 月 30 日をもって、京都装粧品裁縫雑貨協同組合が退去し、その空室の運用策については、現在検討中である。

② 店舗

変動なし。

3 「平成 25 年度事業計画」の進捗状況

(1) 好立地を基にした展示場利用拡大の取組み

① 染織繊維、和装産業及び新規業界など多様な催事の利用促進

ご利用頂いている商社には件数や規模の拡大を依頼し、新規利用促進では、企画プロデュース等の商社や他施設利用者等を中心に誘致を行うとともに

信頼関係の構築に努めた。

②会員サービスの充実

展示場利用に伴う備品使用料（机・いす等）の減免を行った。

※適用件数は43件、累計額は3,299,730円

③営業活動・PRの拡充

市場開拓を目指して、広告宣伝の強化を図る一方で、全国に向けた「毎日DM2通作戦」の展開によりPRの拡充を行った。

(2) 顧客満足度向上を図るための取組み

IT普及高度化等に伴い、情報発信力の強化と利便性の向上を目指すため、ホームページにおいて以下の拡充を行った。

①環境保全及び利用者の利便性向上を図る為、展示場利用手続きに係る申請書式等のダウンロードファイル一式の掲載

②当法人が行う事業や支援する事業等の情報が閲覧できるコーナー「トピックス」をトップページに増設

(3) 安心、安全なビルの定着

i 計画的な設備関係の整備の推進

①設備診断の調査結果及び日常点検の結果等を踏まえ、No.1ガス冷温水機真空部の分解整備を行った。

②経年劣化により、1月11日に発生したガス漏れ事故に伴い、ガス引込管の改修を行った。

ii 防火・防災・防犯対策の推進

消防法の一部改正に伴い、会館全体としての防火・防災に関する規程を作成し、下京消防署へ届出を行った。

(4) 公益法人としての取組み

①継続事業の推進

引き続き、地場産業の振興及び市民生活の向上に資する団体への事務室の貸与を行うとともに、同趣旨を目的とした展示会等に展示場の貸与を行った。

※事務室 京都貿易協会他6団体

※展示場 件数・25件、日数・45日、使用料・11,555,088円

また、会員をはじめ当会館に係る諸団体・商社の方々を対象に、ビジネスやくらし等に役立つよう次の講演会を開催した。※参加者数は71名。

日	時	平成25年6月21日(金)	午前10時～11時20分
場	所	ホテル日航プリンセス京都	3階
講	師	福島 文二郎 氏	(JSパートナー(株)代表取締役)
演	題	「ディズニーに学ぶ ～人材育成と危機管理～」	

②地球環境問題への対応

KES・環境マネジメントシステム（ステップ1）を継続。

(5) 産学公連携による産業振興緊急3ヶ年計画の推進

和装産業振興対策として、

ア 京都市との連携事業

前年度に引続き、3月に伝統産業の日の関連イベントとして、市内の中学生・高校生を対象とした「中高生限定！きもの着付け体験&まちなか散策」及び大学生・専門学校生を対象に「学生100人！きものゼミ」を次のとおり実施した。

○中高生限定！きもの着付け体験&まちなか散策

目的	和装産業をはじめとする伝統産業に対する理解や知識を深め、伝統産業の振興に資することを目的に、市内中高生を対象に、きもの着付け体験等を実施する。
日時	3月15日(土)9時~17時
会場	3階展示場
主催	伝統産業の日実行委員会、京都市
共催	(一社)京都産業会館
後援	京都織物卸商業組合、(NPO法人)和装教育国民推進会議
協力	(公財)京都和装産業振興財団
応募対象	京都市内に在住又は通学の中学生・高校生
募集人員	250名(事前申込み)
参加費	無料
参加者数	123名(内訳：中学生／男性4名・女性83名、高校生／男性1名・女性35名)
内容	着付け指導、ステージイベント鑑賞(きものでライブ&THE COMPE きものと帯授賞式)を実施したほか、自由行動では、地下鉄・市バスきもの無料乗車券やきものでおでかけ入場無料を活用する等して市内散策を促した。

○学生100人！きものゼミ

目的	若い世代にきものや和文化に触れてもらう機会を提供し、興味をもってもらうことで和装業界の将来の新規市場への開拓を目的とする。また当イベントを通して、染織協議会が学生に和装や和文化の入口に導く活動をしていることを広く認知してもらい、将来的には教育の一環として多くの企業、大学からの事業協力を目指す。
日時	3月15日(土)8時30分~16時45分
会場	4階展示場及び和文化体験各会場
主催	京都染織青年団体協議会
共催	伝統産業の日実行委員会、京都市、(公財)京都和装産業振興財団
協賛	(一社)京都産業会館
後援	京都新聞社、(公財)大学コンソーシアム京都
協力	(株)おたべ、華道家元池坊、亀屋良長(株)、(株)鈴木松風堂、白竹堂、(株)福寿園、宮井(株)、和装学院振興協議会

応募対象	18～29歳の大学生（短大・大学院を含む）及び専門学校生
募集人員	100名（事前申込み）
参加費	1,000円
参加者数 内 容	101名（内訳：男性25名、女性76名 留学生を含む） 当選した101名（応募は280名）が参加し、着付け指導、ステージイベント鑑賞（きものでライブ&THE COMPE きものと帯授賞式）を実施したあと、参加者と「きもの」についてディスカッション（意見・情報交換）を行った。午後には、7つの和文化体験会場へグループごとに移動し、華道や茶道、和菓子作り等体験を通じて京都の伝統文化に触れて頂いたほか、地下鉄・市バスきもの無料乗車券やきものでおでかけ入場無料を活用する等して市内散策を促した。

イ 京都織物卸商業組合との連携事業

京都きものオーディション開催委員会（京都織物卸商業組合他6団体）主催の「京都きものオーディション（2014 京都・ミスきもの選考会）事業」に本年度も支援協力を行った。

ウ THE COMPE きものと帯の実施

前年度に引続き、市内の大学生等からきもの・帯のデザインを公募する事業「学生デザインコンペTHE COMPEきものと帯」の実施に伴い、同コンペ実行委員会（審査委員会を含む）を設置のうえ、応募（希望者）に役立つようきものと帯の意匠法や基礎知識が学べる「きものデザイン講座」を開講するとともに、作品の募集（9月～11月28日）を行ったところ、次のような結果が得られた。

○応募作品数 88点（前年度は56点）

○応募者人数 59名（前年度は35名）

○応募者在籍校数 13校（前年度は9校）

応募作品は、日本画家の上村淳之委員長をはじめとする審査員13名による審査委員会（12月11日）において、デザインの観点から総合的に審査を行って頂き、入賞の最優秀賞1点（京都市長賞）、優秀賞6点（近畿経済産業局長賞、京都商工会議所会頭賞、京都織物卸商業組合理事長賞、西陣織工業組合理事長賞、京友禅協同組合連合会理事長賞、京都新聞社賞）と入選作品12点を選定した。

入賞作者の授賞式については、きもの普及促進と和装振興に一層寄与することを目的に、伝統産業の日実行委員会（事務局は京都市）並びに京都染織青年団体協議会の共催を得て、3月の「伝統産業の日」関連事業として、学生（中学生・高校生・大学生等）や市民を対象に、和装の美と和の文化の楽しさを感じ取って頂けるライブ鑑賞イベントを併催した「きものでライブ&THE COMPE きものと帯授賞式」を次のとおり実施した。

また、作品の展示については、伝統産業の日実行委員会（事務局は京都市）並びにホテルグランヴィア京都の協賛を得て、同じく「伝統産業の日」関連事業として、「入賞・入選作品展」を次のとおり開催した。

○きものでライブ&THE COMPEきものと帯授賞式

日時	平成26年3月15日(土) 10:50~正午(開場10:30~)
会場	8階シルクホール
主催	THE COMPE きものと帯実行委員会、(一社)京都産業会館
共催	伝統産業の日実行委員会、京都市、京都染織青年団体協議会
定員	700名
プログラム	①きものでライブⅠ「オープニング」出演:京炎そでふれ!(演舞) ②平成25年度学生デザインコンペ「THE COMPEきものと帯」授賞式 ③きものでライブⅡ「お笑い・ミニライブ」出演:見取り図(漫才) ④きものでライブⅢ「国産ロック・ミニライブ」出演:バチロック(和太鼓)
来場者数	351名(内訳:きもの着付け体験とまちなか散策の参加者123名、きものゼミの参加者101名、連携事業主催関係者25名、招待券35名、入場整理券48名、授賞式参加者19名)

○入賞・入選作品展

日時	平成26年3月18日(火)~同年3月31日(月)
会場	ホテルグランヴィア京都「2階ロビー内」
主催	THE COMPE きものと帯実行委員会、(一社)京都産業会館
協賛	伝統産業の日実行委員会、ホテルグランヴィア京都
展示内容	○入賞作品 7点 最優秀賞 京都市長賞 優秀賞 近畿経済産業局長賞、京都商工会議所会頭賞、京都織物卸商業組合理事長賞、西陣織工業組合理事長賞、京友禅協同組合連合会理事長賞、京都新聞社賞 ○入選作品 12点 ○きもの 平成25年度京都市長賞受賞デザイン製品化1点 平成24年度京都市長賞受賞デザイン製品化2点

エ はあと・フレンズ・プロジェクト推進協議会との連携

前年に引続き、心身障害者授産施設展示販売所「はあと・フレンズ・ストア」(平成23年10月1日開設)の地代等助成金を支出した。

(6) 達成目標

項目	目標 [前年度実績からの増減率]	達成状況 [達成率]
展示場の使用料収入	10,500万円 [12%増]	8,639万円 [82%]
新会員の獲得	2件	0件

4 会館管理業務

(1) 主な修繕実績

[共用部分]

①ガス引込管改修工事	159 万円
②全館案内板張替	15 万円
③ガス冷温水機分解整備	357 万円
④空調用冷温水ポンプ（3 台）整備	54 万円
⑤1 階玄関及び地下 1 階東側自動扉駆動部・制御部取替	77 万円

[専有部]

①駐車場車路溝蓋部改修	51 万円
-------------	-------

(2) 環境保全業務

①8 月 4 日	}	飲料水用受水槽・高置水槽清掃
②8 月 30 日		全館一斉害虫駆除
2 月 19 日		

(3) 防災業務

①消防用設備・非常放送設備の法定点検を実施	
② 7 月 10 日	消防法の一部改正に伴う説明会に参加
③ 7 月 18 日	第 1 回事業所帰宅困難者対策検討部会に参加
④ 9 月 13 日	下京自衛消防隊訓練大会【消火器の部】に出場
⑤10 月 11 日	第 2 回事業所帰宅困難者対策検討部会に参加
⑥11 月 7 日	京都市自衛消防隊連絡協議会主催の講演会に参加
⑦ 3 月 11 日	京都市シェイクアウト訓練への参加

5 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下 5 名

(2) 会議

①役員会

会議名	開催日	議事内容
監事会	5月14日	・平成24年度決算の監査
理事会①	5月31日	・第49期通常総会に付議すべき事項等
通常総会	6月21日	・平成24年度事業報告書及び決算 ・役員の一部改選(案) ・諸規程(案) ・平成25年度事業計画及び収支予算書
理事会②	6月21日	・理事長並びに専務理事の選任
理事会③	8月19日	・平成25年度事業報告等
理事会④	3月12日	・平成25年度事業報告 ・平成26年度事業計画(案)及び予算書(案) ・産業会館規程の整備 ・「京都経済センター」(仮称)進捗状況

②区分所有者連絡協議会

開催日	議事内容
12月16日	・共用関係設備等補修計画について ・平成26年度会館管理負担金団体別必要額について ・総合案内板(展示場・会議室)の更新について